

よくある誤り

12 よくある誤り

① 「区分」の不整合

様式 [3] (5) の「区分」が前年度提出様式 [2] (4) と異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 [3] : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書（第1面）

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
<input checked="" type="radio"/>		

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住 所 東京都千代田区〇〇町〇一〇

令和 7 年度提出
様式 3 （第1面）

令和 7 年度提出の実施状況報告（様式 [3] (5)）の区分は、
令和 6 年度提出の処理計画（様式 [2] (4)）と同じ区分になります。



様式 [2] : 産業廃棄物処理計画書（第1面）

2	法定	自主
<input checked="" type="radio"/>		

（第1面）

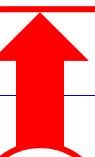
産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住 所 東京都千代田区〇〇町〇一〇

令和 6 年度提出
様式 2 （第1面）



【誤りの例】

- 令和 6 年度提出の処理計画（様式 [2] (4)）の区分が『自主』であったが、令和 6 年度の排出量（実績）が 1,000 トン以上であったため、令和 7 年度提出の実施状況報告（様式 [3] (5)）の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。
- 令和 5 年度の排出量（実績）が 1,000 トン未満であったため、令和 6 年度の処理計画（様式 [2] (4)）を提出しなかったが、令和 6 年度の排出量（実績）が 1,000 トン以上であったため、令和 7 年度提出の実施状況報告（様式 [3] (5)）の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。

よくある誤り

② 目標数値の不整合

様式 3 (5) の目標値が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。
正しくは、次のとおりです。

※入力箇所は、様式 **[3-2] (5-2)** 「別紙処理フロー（種類ごと）」の左下「令和6年度目標値」欄の「薄水色」セルです。

(別紙一括表)は、「別紙処理フロー(種類ごと)」で入力した数値が反映されますが、入力はできません。数値整合性の確認に使用してください。

様式 3：産業廃棄物処理計画実施状況報告書（別紙一括表）

令和7年度提出
様式3（別紙一括表）

令和6年度目標

様式 2：産業廃棄物処理計画書（別紙一括表）

令和6年度提出
様式2（別紙一括表）

令和6年度提出 様式2(別紙一括表)									
産業廃棄物処理計画書									
別紙一括表									
事業場名									
工種	シ	ス	ム	ク	ム	ク	ム	ク	合計
種類	ム	ク	ム	ク	ム	ク	ム	ク	
回収量	回収量	回収量	回収量	回収量	回収量	回収量	回収量	回収量	
① 排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0	346.0				
②+⑧ 自ら再生利用を行った量									
⑤ 自然熱回収を行った量									
⑥ ⑦ 自ら中間処理により減量した量		28,700.0							28,700.
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量									
度	金	全般処理委託量	40.0	2,500.0	200.0	368.0	346.0	182.0	25.0
度	金	資源認定業者への処理委託量	30.0	400.0	78.0	278.0	100.0	12.0	6.0
額	金	再生利用率業者への処理委託量	40.0	2,300.0	200.0	368.0	230.0	182.0	25.0
額	金	認定熟成業者への処理委託量		100.0			30.0		
額	金	認定熟成回収業者以外の熟成回収を行う業者への処理委託量							
① 合計該当事場における排出量	35.0	29,050.0	195.0	250.0	275.0			163.0	22.0
※1 自社の他事業場からの搬入量									
② 自ら直接再生利用した量									
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量									
④ 自ら間接処理する量		28,000.0							
⑤ ④のうち熱回収を行った量									
※2 自社の他事業場での処理量									
⑥ 自ら間接処理後の残さ量		1,100.0							
⑦ 自ら間接処理により削減する量		26,900.0							
A ⑧ 自ら中間処理後又は再生利用する量									
⑨ 自ら間接処理に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量									
⑩ 自ら間接処理後又は自社の他事業場での処理量									
⑪ b 自ら中間処理後の処理委託量		1,100.0							
⑫ b-1 中間処理委託量		1,100.0							
⑬ 再生利用前委託量		1,100.0							
⑭ 最終処分前委託量									
⑮ 下水等排放前委託量									
⑯ 最終処分前委託量									
B 委託量	35.0	1,050.0	195.0	250.0	275.0			163.0	22.0
① 委託量	35.0	1,050.0	195.0	250.0	275.0			163.0	22.0
② 委託量	35.0	900.0	195.0	250.0	200.0			163.0	22.0
③ 最終処分量		150.0			75.0				
④ B-2 基礎処分量									
⑤ 基礎処分量		35.0	2,150.0	195.0	250.0	275.0		163.0	22.0
⑥ ⑦ ⑧のうち資源認定業者		35.0	300.0	100.0	190.0	130.0		16.0	8.0
⑨ ⑩ ⑪のうち再生利用率業者		35.0	2,000.0	195.0	250.0	200.0		163.0	22.0
⑫ ⑬ ⑭のうち認定熟成業者		100.0				40.0			
⑭ ⑮ ⑯のうち熟成回収業者以外の持委託量		30.0				7.0			

令和6年度目標

- 前年度提出の処理計画（様式 2(4)）で定めた目標値を変更することはできません。
 - 廃棄物の種類ごとの内訳、委託先の内訳（再生利用委託か否か、優良認定事業者への委託量）を含めて同じ数値が入ります。

よくある誤り

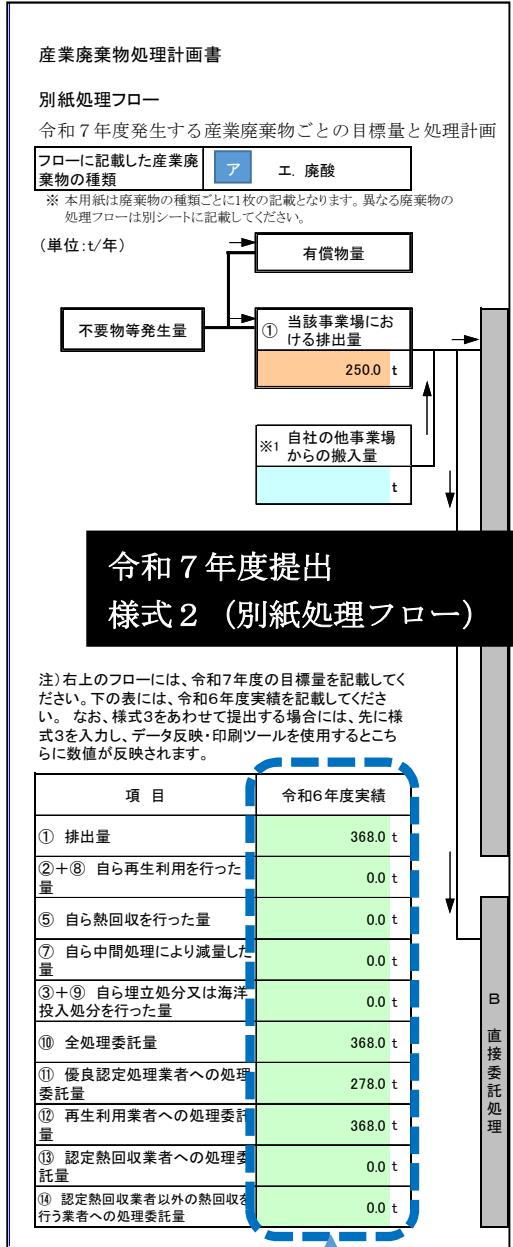
③ 実績数値の不整合

様式 [2-2] ([4-2]) と 様式 [3-2] ([5-2]) の実績値が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

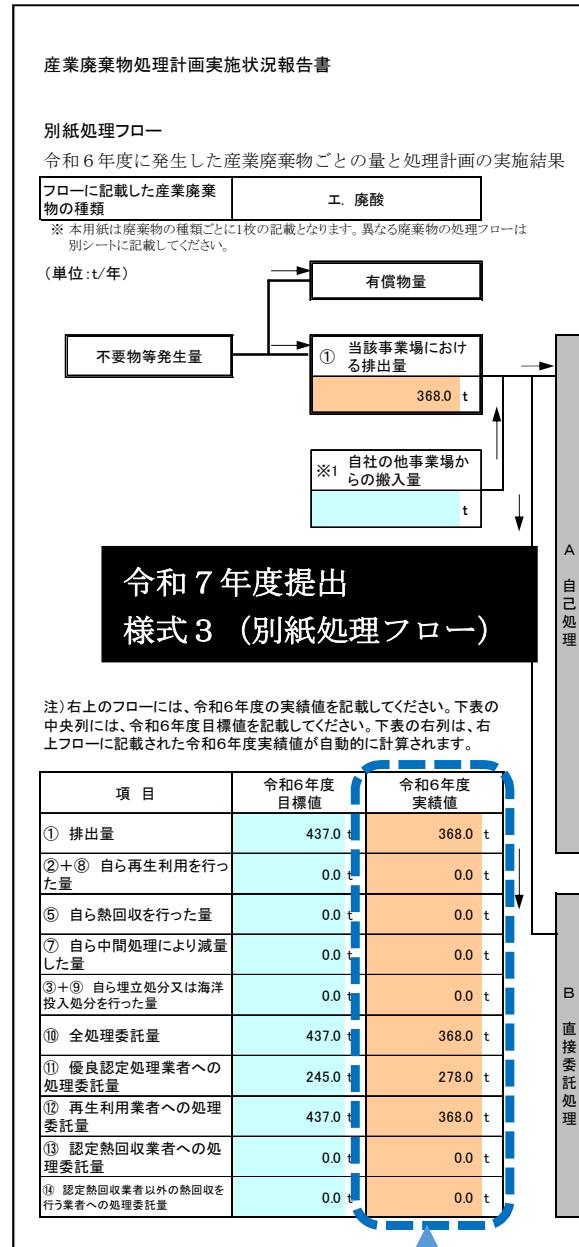
様式 [2]：産業廃棄物処理計画書

(様式 [2-2] 「別紙処理フロー」)



様式 [3]：産業廃棄物処理計画実施状況報告書

(様式 [3-2] 「別紙処理フロー」)



整 合

- いずれも令和6年度実績値であり、それぞれの項目について同じ数値が入ります。
- 様式 [3-2] ([5-2]) から様式 [2-2] ([4-2]) への反映については、P.10を参照してください。

④ 処理委託量の不整合

「別紙処理フロー」(様式 2-2、4-2、3-2、5-2) の⑩「直接及び自ら中間処理後の処理委託量」より、(⑫+⑬+⑭) の合計値が上回る場合は、誤りです。

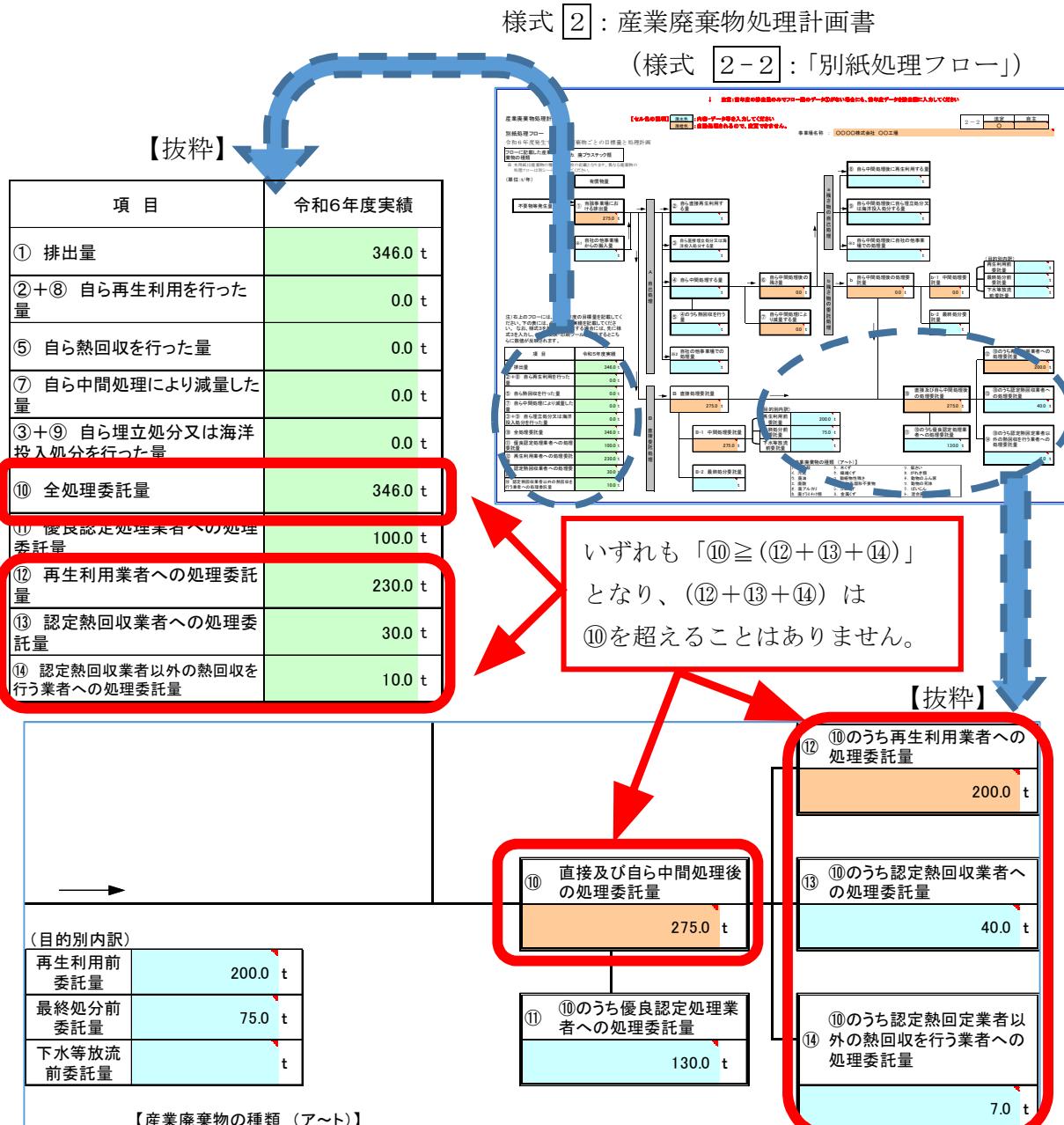
*上記⑫～⑭は、「別紙処理フロー」の項目です。

⑫… 「⑩のうち再生利用業者への処理委託量」

⑬… 「⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量」

⑭… 「⑩のうち認定熱回定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」

正しくは、次のとおりです。



- ⑩の処理委託量のうち、⑫・⑬・⑭に当てはまる場合⑫・⑬・⑭へ記載します。そのため、(⑫+⑬+⑭) は、⑩を超えることはありません。
- 委託した産業廃棄物が焼却後に路盤材として再生された場合、その焼却が発電焼却等であっても熱回収(⑬、⑭)には含めず、すべて⑫となるため(目的別内訳)再生利用前委託量に含めてください。

よくある誤り

⑤ 「一連の処理の工程」の不整合

- I. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」の種類数と第2面「産業廃棄物の種類数」が異なる場合は、誤りです。
- II. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」と様式 3 (5) における「排出量実績の内訳」内容が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書（第1面）

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

2 法定 自主
○ ○

産業廃棄物処理計画書
令和 7 年 6 月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇—〇
〇〇〇株式会社
代表取締役 ○○○
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和 7 年度提出
様式 2 (第1面)

の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理

事業場の名称	〇〇〇株式会社 〇〇工場	自主管理事業登録番号 〇〇〇〇
事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇—〇	TEL(連絡先): 〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日(1 年間)	
当該事業場に関する事項		
① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には) 162 無機化学工業製品製造業	
② 事業の規模	製造業 製造品出荷額 5,500 百万円	
建設業 エリア内元請完成工事高 百万円		
医療機関 病床数 床		
その他の業種 売上高 百万円		
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載してください。)		
③ 従業員数	250 名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	○燃え殻⇒コンクリート固化形⇒埋立 ○汚泥⇒焼却⇒埋立 ○廃油⇒油水分離⇒助燃剤 ○廃酸⇒焼却⇒埋立 ○廃プラスチック類⇒破碎・圧縮⇒再資源化 ○金属・ガラス⇒破碎⇒再資源化 ○ガラス・コンクリート・陶磁器⇒破碎⇒再資源化 ○ばいじん⇒薬注入固化⇒再資源化	
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入		

8 種類

I. 様式 2 : 産業廃棄物処理計画書
(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)

代表取締役 殿
産業廃棄物処理統括責任者(工場長)
産業廃棄物責任者(統括)環境
人事総務部長(ブロック長)
産業廃棄物管理責任者
各 部 門

令和 7 年度提出
様式 2 (第2面)

産業廃棄物の排出の実績に関する事項
(前年度(令和 6 年度)実績)

産業廃棄物の種類数	8 種類	* 様式ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
① 排出量	32,368.4 t	

(これまでに実施した取組)

・ 減量率のリサイクル利用。
・ 製造工程中の収率の向上、原材料や資材の効率的な利用に取り組み、廃棄物の発生抑制を図っている。
・ 産業廃棄物の発生抑制に関する教育、研修のより環境マネジメントの目的・目標の周知を実施した。
・ 不要になったオフィス備品や文具類の資源スペースを設け、中古品の再利用を促進している。
・ 外部の環境情報を収集・確認し、情報収集を行っている。
・ 環境報告書を作成し、地域コミュニケーション金を介して情報公開している。

〔令和 7 年度〕目標

産業廃棄物の種類数	8 種類	* 様式ごとの本年度排出量は、別紙のとおり。
① 排出量	23,368.9 t	

〔今後実現する予定〕

・ 産業廃棄物の発生抑制による効率的な資源循環を図ることで、より環境マネジメントの目的・目標の周知を図っていく。
・ 産業廃棄物の種類ごとに分類して、より効率的な資源循環を図ることで、より環境マネジメントの目的・目標の周知を図っていく。
・ 産業廃棄物の種類ごとに分類して、より効率的な資源循環を図ることで、より環境マネジメントの目的・目標の周知を図っていく。

「別紙処理フロー」へ
「8 種類」の計画を入力



【誤りの例】

- 「一連の処理の工程」には 6 種類の産業廃棄物の処理の工程を記載したが、「別紙処理フロー」は 8 種類の計画を予定している。 ⇒ 様式 2 (4) 「別紙処理フロー」が 8 種類であれば、(第1面)「一連の処理の工程」も 8 種類の産業廃棄物の処理工程を記載してください。
- 「一連の処理の工程」では全量を再生利用と記載したが、「排出量実績の内訳」では全量が最終処分委託であるような著しい相違がある場合。

令和 7 年度提出
様式 3 (別紙一括表)

区分	品目	数量	単位	単価	金額
1. 一般廃棄物	一般廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	一般廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
2. 危険廃棄物	危険廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	危険廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
3. 産業廃棄物	産業廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	産業廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
4. 農業廃棄物	農業廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	農業廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
5. 其他廃棄物	其他廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	其他廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
6. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
7. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
8. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
9. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
10. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
11. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
12. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
13. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
14. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
15. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
16. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
17. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
18. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
19. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
20. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
21. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
22. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
23. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
24. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
25. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
26. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
27. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
28. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
29. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
30. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
31. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
32. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
33. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
34. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
35. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
36. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
37. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
38. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
39. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
40. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
41. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
42. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
43. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
44. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
45. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
46. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
47. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
48. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
49. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
50. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
51. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
52. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
53. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
54. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
55. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
56. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
57. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
58. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
59. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
60. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
61. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
62. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
63. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
64. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
65. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
66. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
67. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
68. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
69. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
70. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
71. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
72. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
73. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
74. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
75. 廃棄物	廃棄物	100.0	t	1,000	100,000
	廃棄物	100.0	t	1	